

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー ハヌマーン		ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	男子高校生/アルバイト定員
	オプショナル		年齢	18	性別	♂
覚醒	感染	衝動	解放	初期侵食率	32 %	
出自	待ち望まれた子	経験	殺傷	邂逅	憧れ：支部長	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	3	0	0			3	行動値	6
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	6
精神	2	1	1			4	戦闘移動	11
社会	2	0	0			2	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
焦熱の弾丸	RC	8r+8		9+3		苛烈・援護・ウイプル前提。攻撃12。単体。焦熱+コンセ
凍てつかせる熱炎	RC	7r+8		9+9		苛烈・援護・ウイプル前提。攻撃21。シノ(選択)。焦熱+コキユートス+コンセ
永久の熱炎<シュプリマシオン>@80	RC	6r+8		9+3+12		苛烈・援護・ウイプル前提。攻撃24。単体。焦熱+クロス+コンセ
永久の熱炎<シュプリマシオン>@100	RC	7r+11		12+4+16		苛烈・援護・ウイプル前提。攻撃32。単体。焦熱+クロス+コンセ

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲：	0	合計回避：	0
【思い出の一品】					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費	
変異種：サラマンダー	P 執着	N 恐怖			
両親	P 傾倒	N 悔悟			
支部長：巢籠のぼら	P 信頼	N 執着			
シナリオ：治癒のかを持つ少女(海外)	P 庇護	N 不安			
ヴェロニカ	P 尊敬	N 隔意			
フェリクス	P 有為	N 猜疑心			
海を見に行く約束	P 憧憬	N 不安			
最大財産P:	4	残り財産P:	2		

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
苛烈なる火(3)	3	3	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果：	ラウンド間、攻撃力+[LV*3]。HP5点失う。							
焦熱の弾丸(5)	1	1	Xジャー	視界	-	対決	-	
効果：	攻撃力：+[LV+2]の射撃攻撃							
コキユートス(3)	3	4	Xジャー	視界	シノ(選択)	対決	D0イス	
効果：	攻撃力：+[LV*3]の射撃攻撃。判定ダイス-2個。シナリオ3回まで。							
コンセントレイト：サラマンダー(3)	2	2	Xジャー	-	-	-	-	
効果：	C値を-LV							
クロスバースト(3)	3	4	Xジャー	-	-	対決	80↑	
効果：	攻撃+[LV*4]、判定ダイス-2個							
援護の風(5)	5	2	オート	視界	単体	自動	-	
効果：	判定直前に使用。判定ダイス+LV個							
ウインドブレス(3)	2	2	オート	視界	単体	自動	リミット	
効果：	《援護の風》と同時に使用。達成値+[LV*3]							
風の支配者	★	-	Xジャー	視界	範囲(選択)	自動	-	
効果：	空気にうねりを起こし周囲に風を発生させるエフェクト							
軽功	★	-	Xジャー	至近	自身	自動	-	
効果：	すさまじく身軽であり、垂直のビルの壁面や水面であろうとも走り抜けることを表すエフェクト							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

「のぼらさん、この本どこに置いておけば……って、また寝落ちてる」
「のぼらさんは憧れなんですよ、俺の。だからここに来だし、ここに残ってる」
「……………ちょっと、まあ、あんだけけど」
「うちの支部長を馬鹿にしないで貰えます？ 彼女、女王なんです。完全無欠の」

俺／アンタ。お前。目上の人はあなたと呼ぶし、丁寧になれる。根は少年らしい少年。年頃らしくはしゃぎたい気持ちはあるが、気を抜いてはいけない立場なんだと思込んでいる。また、自身が子供の頃から両親を信じていけなかったこと、憧れている人物が幼少期から天才的だったことから、『子供』という存在を神聖視している部分がある。子供を守るのは『子供』である、と無意識に責任感を感じているようだ。

生粋のUGNチルドレン。両親は一般人だったが、どこかでレネゲイドウイルスに感染していたようで、自身は出生した時からオーヴァードであった。そのせいで、生まれたその瞬間に両親を焼いてしまっている。が、長いこと生まれてすぐに捨てられたと教えられて育っていたため、その事実を知らなかった。本格的にUGNとして任務に就くようになった頃、「知らなければならぬこと」として知らされた。自分を捨てた両親など興味も無い、と家族について考えることはなかったものの、その事実を知ってほんの少少だけ興味は湧いた。と同時に、どうしようもない、恨みようのない後悔をほんの少少だけ抱えることになった。UGN監視下にある高校に通っており、一般常識は一応そこそこ身につけている。周囲の学生たちとも溶け込んでいるように振る舞っているが、どこか遠い世界だと感じながら日々を過ごしている。

かつてチルドレン養成所で訓練を受けていた際、神童と呼ばれたUGNチルドレンがいたことを知る。